

～先天性風しん症候群の発生を予防するために～

風しん抗体検査のご案内

平成25年に全国で風しんの患者が急増しました。患者の多くが成人男性で、職場での集団感染や、その感染者から家族への感染事例も報告されています。

妊娠中の女性(特に妊娠20週頃まで)が風しんにかかると、生まれてくる赤ちゃんが「先天性風しん症候群」という病気にかかることがあるので注意が必要です。妊娠中は風しんの予防接種が受けられないため、周囲の人が予防する必要があります。

風しんに対する十分な免疫があるかどうかは、抗体検査で確認することができます。**壱岐保健所では、風しん抗体検査を無料で実施しています。**

※なお、検査の結果、十分な免疫がないと判明した方(陰性または低抗体価)は、ワクチンを接種し風しんに対する免疫を獲得することが推奨されます。結果説明時にワクチン接種についてご案内します。(妊娠中は風しんワクチンの接種はできません。)

～壱岐保健所の風しん抗体検査について～

対象者:長崎県内(長崎市、佐世保市を除く)に住民票がある方で、

- ①妊娠を希望している女性(妊婦は除く)
- ②妊娠を希望している女性の夫・パートナー
- ③風しん抗体価が低い妊婦の夫・パートナー
- ④風しん抗体価が低い妊婦の同居者

費用:無料

検査日時:電話予約時に日程調整(要予約)平日9:00～17:00

実施場所:壱岐保健所

結果通知:検査から約1か月後に壱岐保健所で説明

備考:HIV、梅毒、クラミジア、HTLV-1の検査も同時受検可能

※クラミジア検査は尿検査になります。

予約・問い合わせ先:壱岐保健所 47-0260



令和8年4月より、風しん抗体検査をオンラインでも予約できるようになります。

オンライン予約対象日時:毎週火曜日 13:00～16:00

QRコードまたはURLからアクセスして頂き、詳細を確認した上で申し込みをお願いいたします。

オンライン予約はこちら↓

https://apply.e-tumo.jp/pref-nagasaki-u/reserve/offerList_detail?tempSeq=12429



風しんの基礎知識



① 風しんはどんな病気？

風しんは、風しんウイルスが原因で起こる急性の発疹性感染症です。

主な症状は、発疹、発熱、リンパ節の腫れです。多くは1週間程度で症状が治まりますが、中には急性脳炎などを起こし、重症化するケースもあります。

② 風しんの感染経路は？

風しんウイルスは、咳、くしゃみ、会話などで飛び散る飛沫を介して広まります。感染しても症状が出ない人もいるため、知らないうちに感染し、人に感染させていたということもあります。感染力が非常に強く、インフルエンザウイルスの数倍とも言われています。

③ 先天性風しん症候群とは？

妊娠中の女性(特に妊娠20週頃まで)が風しんにかかると、生まれてくる赤ちゃんに、耳が聞こえにくくなる、心臓に疾患が生じる、目が見えにくくなる、精神や身体の発達に遅れが生じるなどの障害(先天性風しん症候群)が出る可能性があります。しかし、妊娠中は風しんの予防接種が受けられないため、周囲の人が予防する必要があります。

④ 風しんワクチンについて

ワクチンの接種歴や過去に風しんにかかったかが不明な場合は、抗体検査またはワクチンの接種をお勧めします。子どものころに風しんにかかった記憶がある場合も、記憶違いや風しんに似た病気にかかっていた可能性を否定できないので、抗体検査またはワクチンの接種をお勧めします。なお、妊娠中の女性は風しんワクチンを接種できませんのでご注意ください。

⑤ 風しんの流行状況は？

平成25年には全国で累計14,344例の報告があり、以降減少傾向です。直近5年間は令和3年12人(福岡県長崎県ともに発生なし)、令和4年15人(福岡県1人、長崎県0人)、令和5年12人(福岡県1人、長崎県0人)、令和6年9人(福岡県長崎県ともに発生なし)、令和7年12人(福岡県長崎県ともに発生なし)でした。大部分が関東・甲信越地方での発生ですが、近畿・関西地方でも発生があります。

流行のピークを認めやすい春先は、風しんの流行に注意が必要です。

予約・問い合わせ先：

彦岐保健所 風しん抗体検査担当

彦岐市郷ノ浦町本村触620-5 TEL 47-0260

オンライン予約：

https://apply.e-tumo.jp/pref-nagasaki-u/reserve/offerList_detail?tempSeq=12429

